

令和3年1月8日

## 三学期を迎えて

学校長 松浦りつ子

みなさん、明けましておめでとうございます。新しい年が始まりました。今年は特に、昨年から続いているコロナの感染拡大の影響で、初詣も日をずらして欲しい、帰省や外出も控えてもらいたいというような要請が政府から出たりして、日本全体に静かなお正月だったように思います。私は、日頃手入れが行き届かない箇所の掃除や片付けをしたり、図書館で読みたい本を15冊借りてきて読書したり、という休み期間でした。中でも、お正月の三日間は毎日ウォーキングをするという小さな目標を決め、合計で25km歩けたことに達成感を感じています。皆さんは、どんな冬休みを過ごしましたか？

今年は「目標を持ちましょう」というのが、一年を通してのわたしの話です。学校のサイクルでいうと、三学期は新しい年度に向かうためのまとめの時期です。皆さんにとってのまとめの時期の目標は何でしょうか。

三学期。三年次生の皆さんにとっては、文字通り「最後の高校生活」の時間です。卒業までの残り少ない時間をどう過ごすのか。「目標」を定めてください。共通テストを受験する予定の人は、最後のスパートをかける時です。三年次生全員で応援しましょう。進路がまだ決定していない人にも、同様に応援しましょう。自分たちの絆を強めてください。卒業の日には、自分が三年間で成長した事を実感できるように、みんなの絆が結ばれた手応えを誇れるように、残された日々を精一杯送ってください。その姿が、皆さんから後輩達に引き継ぐ本校の伝統になっていきます。

二年次生の皆さん、三学期には学年旅行を通して皆さんのつながりを深めてください。そし

て、三年次の先輩方からは太子高校の伝統をしっかり受け継いでください。皆さんは三学期の終わりには、最高年次になる準備を完了しておかなければなりません。今年は様々なところで学校行事も中止や変更になり、例年の二年次生よりも経験値が少なくなっていました。その少ない分は、知恵と工夫で乗り切りましょう。そのためにも、各自の「目標」を明確にし、実行する事が大切です。そうすれば、三年次になったときに皆さん一人一人が自分自身の成長を自覚できるようになります。皆さんの太子高校での学びは、それを必ず可能にします。

一年次生の皆さん、いよいよ「先輩」になる時が近づいて来ました。どんな先輩になろうと思いますか？「優しい先輩」「親切な先輩」「厳しくて頼りがいのある先輩」・・・そのためにも、今のうちに三年次生の姿をしっかりと見ておいてください。三学期には、部活動や普段の学校生活で一三年次生と一緒に過ごすことはほとんど無いかもしれませんが、学校の伝統を紡ごうとしていることは入学以来見てきたはずです。心に刻んでください。二年次生の姿は、さらに身近で大切なお手本です。そうしたことが皆さんの「目標」に織り込まれると、厚みと深みが増すことでしょう。あとは実行あるのみです。

三学期は、二回の高校入試もあって、生徒の皆さんが登校できる日数は本当にわずかです。そのわずかな中で目標に向かって努力し、人との絆を強く結び、太子高校の伝統を引き継いでください。有終の美を飾り、新たなステージに上るための三学期です。精一杯の努力をしてください。皆さんならきっとできます。期待しています。